

土木学会 鋼構造委員会  
ケーブル系橋梁の合理化検討小委員会

---

【お知らせ】

本検討小委委員会は、鋼構造シリーズ「ケーブルを使った低コスト橋梁のノウハウ」を出版し、講習会を2007年6月に開催して終了しました。

---

【設立の目的】

最近、鋼とコンクリートとの構造部材を巧みに組み合わせた複合橋梁、ケーブルの高引張強度を利用したPC橋梁などの新しい形式の橋梁が開発されています。そして、これらの橋梁は、主径間長が80～200m程度の中支間の橋梁に幅広く採用されつつあります。そこで、この小委員会が土木学会鋼構造委員会の中に設立され、中支間の斜張橋、ニールセン橋、その他のケーブル系鋼橋を対象にして、ケーブルを有効に用いた新しい形式の独創的あるいは経済的な鋼橋を開発し、それらの鋼橋が、PC箱桁橋（波型腹板を有するPC箱桁橋も含む）、エキストラドーズド橋、およびPC斜張橋とともに、上記の中支間の橋梁形式として、高く評価されるようにする目的で2年間の検討を行うこととなりました。参加人数は23名となっています。

【活動内容】

下記の3つのWG（ワーキンググループ）に委員を分けて活動を行うこととなりました。なお、活動の内容は今後の検討により更に詳細なWG、もしくは合同のWGになることも考えています。

・設計コンセプト検討分委会

（独創的あるいは経済的で新しいケーブル系橋梁の検討・開発）

試設計、ケーブル安全率、実橋調査、新しい構造、プレストレス導入法など

・合理的なケーブル・定着構造検討分科会

（安価でより合理的なケーブルおよび定着構造の検討・開発）

ソケット、ピン・ガセット、定着構造、鋼棒、CFRPケーブル、低防錆ケーブルなど

・架設工法検討分科会

（中支間橋梁の特有性、プレストレス導入法を考慮したケーブル系橋梁

の架設方法の検討・開発）

プレストレス導入法、中支間橋梁の特有性、架設工法など

【活動・成果報告】

活動期間 平成13年11月から2年間

- 第1回小委員会 平成13年11月28日(土木学会 三浜ビル)
- 第2回小委員会 平成14年2月1日(岐阜県鷺飼大橋見学会開催)
- 第3回小委員会 平成14年4月10日(土木学会本館会議室)
- 第4回小委員会 平成14年6月6日(土木学会本館会議室)
- 第5回小委員会 平成14年8月16日
- 第6回小委員会 平成14年10月18日
- 第7回小委員会 平成14年12月16日
- 第8回小委員会 平成15年4月14日
- 第9回小委員会 平成15年月日
- 第10回小委員会 平成15年月日
- 第11回小委員会 平成15年月日
- 第12回小委員会 平成16年1月10日
- 第13回小委員会 平成16年4月13日
- 第14回小委員会 平成16年6月15日
- 第15回小委員会 平成16年8月18日
- 第16回小委員会 平成16年10月6日
- 第17回小委員会 平成16年12月20日
- 第18回小委員会 平成17年3月15日

**【委員構成】**

委員長	北田俊行	大阪市立大学大学院工学研究科
幹事	森山佳樹	(株)神戸製鋼所
	内藤純也	(株)神戸製鋼所
委員	一ノ瀬伯子・ルイザ	(株)日本工業試験所
	川原裕樹	松尾橋梁(株)
	木部洋	(株)エスイー
	謝旭	開発コンサルタント(株)
	菅原公理	東京製綱(株)
	杉浦邦征	京都大学大学院
	須澤雅人	川田工業(株)
	富本信	(株)ハルテック
	中村一史	東京都立大学大学院
	野口二郎	(株)総合技術コンサルタント
	林孝雄	新日本製鉄(株)
	古田富保	横河工事(株)
	古野潤	(株)横河ブリッジ

連絡幹事

北條哲男  
正木洋二  
南良久  
森下泰光  
藪野真史  
山口隆司  
吉川洋  
奥井義昭

ものつくり大学  
日立造船（株）  
神鋼鋼線工業（株）  
高田機工（株）  
石川島播磨重工業（株）  
大阪市立大学大学院工学研究科  
光洋エンジニアリング（株）  
埼玉大学